

# 第55回日本免疫学会学術集会

The 55th Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology

## 趣意書

会 期	2026年11月17日（火）～19日（木）
会 場	大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）
学術集会長	竹田 潔（大阪大学）
ホームページ	<a href="https://www2.aeplan.co.jp/jsi2026/">https://www2.aeplan.co.jp/jsi2026/</a>

第55回日本免疫学会学術集会 会長を拝命いたしました、大阪大学の竹田 潔でございます。

このたび、2026年11月17日（火）から19日（木）の3日間にわたり、大阪府立国際会議場において、第55回日本免疫学会学術集会を開催させていただき運びとなりました。

わが国の免疫学は、免疫現象を現象論として捉える学問として幕を開け、1980年代にはサイトカイン遺伝子の相次ぐクローニングにより分子実態の解明が飛躍的に進展いたしました。1990年代には遺伝子欠損マウスの作製技術を駆使し、免疫分子の機能を個体レベルで明らかにしてまいりました。さらに近年では、次世代シーケンサーをはじめとする解析技術の革新により、微量のサンプルから膨大かつ精緻な情報を取得することが可能となり、免疫学は新たな時代を迎えております。こうした潮流の中で、今後の免疫学は、臨床医学や情報科学との緊密な連携のもと、ヒトの免疫システムを深く理解し、免疫疾患克服へとつなげていくことが重要な課題であると考えております。本学術集会においても、このような視点から多様なトピックを取り上げ、活発な議論を展開してまいりたいと存じます。

また、現在、日本免疫学会理事長として、学会の持続的かつ国際的な発展のために、①臨床系学会との連携、②次世代研究者の育成、③国際化の三課題に継続的に取り組んでおります。本学術集会におきましても、①臨床系学会との連携：日本アレルギー学会、日本リウマチ学会との合同シンポジウムの開催、②次世代研究者の育成：研究奨励賞の授与式およびポスター発表、若手免疫学研究推進事業・若手女性研究者研究支援事業の採択者セッション、「きぼう」プロジェクト採択者によるポスター発表、③国際化：フランス、ドイツ、オーストラリア、韓国の各免疫学会との合同シンポジウム、などを通じて、幅広い交流と成果の共有を図る予定でございます。

なお、大阪における本学術集会の開催は、2009年に宮坂昌之先生が会長を務められて以来、実に17年ぶりとなります。大阪では2025年に「関西万博 EXPO2025」が開催され、街全体が活気に満ちております。私も大阪大学の免疫学研究者一同も、その熱気に呼応しつつ、万博に勝るとも劣らぬ実り多き学術集会となるよう、鋭意準備を進めております。

第55回日本免疫学会学術集会の目的・趣旨にご賛同いただき、何卒、ご支援の程深くお願い申し上げます。

第55回日本免疫学会学術集会

会長 竹田 潔

大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 拠点長



## <開催概要>

### 会議の名称

第55回日本免疫学会学術集会

### 主催

特定非営利活動法人日本免疫学会

### 組織委員会

学術集会長 竹田 潔（大阪大学）

副会長 荒瀬 尚（大阪大学）、藤本 学（大阪大学）、保仙 直毅（大阪大学）、  
山崎 晶（大阪大学）

事務局長 松岡 悠美（大阪大学）

### 会期

2026 年 11 月17日（火）～19日（木）

日程	午前	午後
11月17日（火）	オーバービュートーク、シンポジウム、評議員会、 Clinical/Technical Seminar、ポスター、機器展示会	ワークショップ、Afternoon Seminar、イブニングセミナー、 ポスターセッション、機器展示会
11月18日（水）	オーバービュートーク、シンポジウム、 Clinical/Technical Seminar、ポスター、機器展示会	ワークショップ、Afternoon Seminar、総会、受賞記念講演、 ポスターセッション、機器展示会、懇親会
11月19日（木）	オーバービュートーク、シンポジウム Clinical/Technical Seminar、ポスター、機器展示会	ワークショップ、ポスターセッション、機器展示会

### 会場

大阪府立国際会議場〔グランキューブ大阪〕（〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3-51）

### 開催概要

- ① 会議の構成      オーバービュートーク、シンポジウム、受賞記念講演、  
Technical/Clinical/Afternoon Seminar 等の各種セミナー、ワークショップ、  
ポスター発表、機器展示会、懇親会
- ② 使用言語      日本語・英語
- ③ 参加予定国      米国、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スイス、  
オーストリア、スウェーデン、オーストラリア、中国、韓国、  
東南アジア諸国、日本、他
- ④ 予定発表演題数      700 演題
- ⑤ 予定参加者数      2,000 名
- ⑥ 出版物の有無      あり（プログラム集）

## 会議の目的と概要

日本免疫学会は1971年に設立された我が国の医学会を代表する学会の一つです。コロナ下ではありましたが2021年には50周年を迎えましたが、この間、世界の免疫学研究は分子生物学的手法、遺伝子改変動物技術、網羅的遺伝子解析技術などの開発と共にめざましい進展をみせ、医学生物学の分野における多くの新しい発見をもたらしてきました。その中で我が国の免疫学研究は、特にサイトカイン研究などを中心に一貫して先導的な役割を果たしてきたことは世界が認めるところです。日本免疫学会はこの間、我が国の免疫学研究の中心拠点として活動してきました。

2005年には、任意団体からNPO法人として生まれ変わり、さらに活発な活動を展開してきております。現在、会員数3,600名を超える我が国でも有数の学会であり、学術集会の他、国際専門誌の発行、学生や若手研究者の研修会（免疫サマースクール）、一般の人達への啓蒙活動（免疫ふしぎ未来）など多彩な活動を進めています。2010年8月には、神戸・大阪・京都の関西地区にて、3年に1度の国際免疫学会が開催され、世界中から6,000名近い研究者が集い、世界の免疫学研究の先導役としての面目を果たしました。

我が国は今、これまで人類が経験したことのない超高齢化社会を迎えつつあります。この中で、死因の第一位であるがんや記憶に新しいコロナウイルスのパンデミックもありましたが2050年までにがんを抜いて世界の死因第一位になるとWHOも予想している感染症、さらには予備群も含めると我が国の人口の約5人に1人が罹患している糖尿病や心血管疾患の原因ともなる慢性炎症、人口の約1／3が何らかの症状を持ち国民病ともいわれるアレルギーなど、社会的な健康課題は言うに及ばず、100を超える多くの難病のほとんどに免疫異常が関与していることを考えれば、免疫学研究の重要性は論を待ちません。さらに近年、腸内細菌叢に代表される環境因子が免疫制御や疾患の発症に大きく関わっていることも明らかになってきました。医学生物学研究は仮説検証型研究から、1細胞解析を含む各種オミクスデータや複雑な細菌叢メタゲノムデータなどのビッグデータ・メタデータを扱う数理・システム生物学に基づくデータ駆動型研究が主流となりつつあります。これまでの免疫学はとするとマウスを主体とするモデル生物による詳細な分子メカニズムの解明が主流でしたが、モデル生物とヒトとの違いが明らかになると共に、ヒト免疫学の重要性がクローズアップされています。そこで、これからの免疫学は、免疫系と他の高次機能システム（神経系、内分泌系、消化器系など）の時系列データによる免疫老化を含む多臓器連関、さらには腸内細菌叢に代表される環境因子との関係について、ヒトとモデル生物のデータの融合による統合的なデータ駆動型研究をめざす必要があります。

日本免疫学会学術集会は、毎年国内のみならず世界中から約2,000名の免疫研究者が一堂に会し最新の研究成果を発表し議論する本学会の最も重要な集会です。国際化を標榜し2013年に完全英語化に踏みきった甲斐もあり、特にアジアを中心に世界中から一般参加者が着実に増えています。第55回学術集会は、2026年11月17日～19日の3日間、大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）で開催いたします。学術集会では例年通り、国内外の第一線の研究者による最先端課題の国際シンポジウム、会員によるテーマごとのワークショップ、各種の教育・技術セミナーなどを企画しています。

上記の社会的背景と国民的要請に鑑み、生命原理の理解を基礎にヒトの多くの疾患や難病の克服と健康維持に資する学術集会とすべく、鋭意準備を進めております。大阪大学医学部の前身となった適塾の近くの大阪府立国際会場（グランキューブ大阪）で開催する第55回日本免疫学会学術集会の目的・趣旨にご賛同いただき、何卒、ご支援の程深くお願い申し上げます。なお、拠出いただきました協賛金につきましては、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、各社が公表することについて了承いたします。

#### 演題登録期間（予定）

---

2026年4月27日（月）～6月2日（火）

#### 事前参加登録期間（予定）

---

2026年4月27日（月）～9月30日（水）

#### 振込口座

---

銀行名 みずほ銀行

支店名 九段支店（532）

種別・番号 3 3 6 1 8 1 0

口座名 第55回日本免疫学会学術集会

ダイゴジユウゴカイニホンメンエキガツカイガクジユツシユウカイ

#### 適格請求書発行事業者の登録番号（インボイス番号）

---

特定非営利活動法人日本免疫学会

T9010005008442

## ＜スポンサーランク＞

第55回日本免疫学会学術集会においては、以下のとおり、協賛金合計額に応じてスポンサーランクを設定し、記載の特典を設けております。協賛金額には、下記のすべてを含みます。

- ◇ 共催セミナー（臨床セミナー・テクニカルセミナー・イブニングセミナー）
- ◇ 広告（プログラム集・ホームページバナー広告・幕間スライド・配信システムバナー広告）
- ◇ 展示
- ◇ 賛助寄付金

### ■スポンサーランク別特典

スポンサーランク	参加証	プログラム集 (謝辞ページ)	オンラインシステム (TOPページ)
プラチナスponsor 協賛金3,300,000円以上（税込）	10枚	ロゴ（大）掲載	ロゴ掲載
ゴールドスponsor 協賛金2,200,000円以上（税込）	5枚	ロゴ（中）掲載	ロゴ掲載
シルバースponsor 協賛金1,100,000円以上（税込）	5枚	ロゴ（小）掲載	
ブロンズスponsor 協賛金550,000円以上（税込）		ロゴ（小）掲載	

上記ランク共通特典：総会・評議員会・理事会で謝辞、謝辞パネル設置

### ＜参加証について＞

スポンサー特典の参加証では、Web抄録集の閲覧が可能です。

### ＜オンラインシステム（TOPページ）＞

オンラインシステムバナー広告のページをご覧ください。

## < 共 催 セ ミ ナ ー >

### Clinical Seminar / Technical Seminar / Evening Seminar

貴社の学術・研究活動に関連した医薬品・生物学的製剤等による免疫疾患や感染症の診断、治療・予防の進展などをご紹介いただく Clinical Seminar、または貴社が扱う最新の医学・生命科学関連試薬・技術・機材・機器等を使った実験法などやアレルギー・免疫疾患・癌・感染症研究に関連する最新の機器紹介を通じて基礎研究・応用研究・開発研究の融合の場となる Technical Seminar としてご企画いただければ幸いです。これらのセミナーの開催は、貴社の活動を当学会員・参加者に広く周知していただける良い機会としてのみならず、当学会員・参加者にとりましても日々の研究活動に臨床からの新しい視点を取り入れるための絶好の機会となることから、更なる免疫学研究の進展に貢献できるものと考えます。本セミナーの開催についてご検討いただきますよう、深くお願い申し上げます。なお、第55回日本免疫学会学術集会共催セミナーにつきましては、現時点では現地開催を予定しております。数に限りがありますので、お早めのご検討とお申し込みをいただけますと幸いです。

開催経費 ￥1,870,000- (税込)

※講演者・座長の旅費、謝金、参加者用お弁当、控室飲食等は、別途各企業様のご負担となります。

開催日時 1) Clinical Seminar / Technical Seminar

2026年11月17日(火)～19日(木) 11:40-12:40

2) Evening Seminar

2026年11月17日(火) 18:30-19:30

開催会場 開催日や会場の広さ(大会場(480、360)、中会場(250、230)、小会場(150、140))についてご希望あればお申込みいただく際にご希望を記載してください。

先着順にてご希望は考慮いたしますが、ご希望通りにならない可能性もございますことをご了承ください。最終的には全体のバランスも鑑み、組織委員会にて決定させていただきます。

募集数 クリニカルセミナー、テクニカルセミナー 合計21枠(3日合計)

イブニングセミナー 2枠

申込方法 学術集会ホームページよりお申し込みをお願いします。

申込締切 2026年7月10日(金)

振込期日 2026年8月31日(月)

#### ※日本免疫学会からのお願い

- ① セミナーの開催は原則として日本免疫学会との「共催」とさせていただきます。
- ② 会場および開催日の割り当てにつきましては、基本的に「お申込先着順」とし、いただいたご希望の日程、会場を考慮した上で、実行委員会にて調整、最終決定させていただきます。  
ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。  
会場や開催日のご希望がない場合には、実行委員会にて調整、決定させていただきます。
- ③ お分りの範囲で結構ですので、座長と演者をご記入ください。その後で変更が生じても構いません。
- ④ 共催セミナーも抄録の提出が必要となります。オンラインでの登録をお願いする予定となっておりますが、詳細は後日、別途ご連絡いたします。
- ⑤ 日本免疫学会として講演者を推薦させていただくことも可能ですので、ご相談ください。
- ⑥ 当日配布用チラシ等の印刷案内物については、事前に原稿をご提出いただき、内容によっては変更をお願いすることがございます。

## ＜ 広 告 ＞

### プログラム集広告

1	広告媒体名	2026年日本免疫学会総会・学術集会 第55回プログラム
2	配 布 対 象	学会参加者・学会員・掲載企業各社（広告掲載誌として1冊お送りします）
3	発 行 部 数	1,000 部
4	版 型	A4 変形
5	掲 載 料 金	表 4 : 1 頁（4 色） ￥220,000-（税込） 1 枠 表 2 : 1 頁（4 色） ￥165,000-（税込） 1 枠 表 3 : 1 頁（4 色） ￥132,000-（税込） 1 枠 記事 中 : 1 頁（4 色） ￥110,000-（税込） 4 枠
6	原 稿	サイズ：タテ280mm×ヨコ210mm  （A4サイズでご提出の場合は、タテ280mmに合わせて縮尺を調整させていただきます）  完全データ（illustrator もしくは印刷用 PDF）にてご入稿下さい。  Adobe illustrator の場合、フォントは全てアウトライン化、画像は埋込をお願いします。制作環境（OS と illustrator のバージョン）を明記の上、確認用 PDF と同送してください。原稿は形式にかかわらず <u>CD-R では受け付けられません</u> のでメール添付またはデータ便をご利用下さい。
7	原 稿 締 切	2026年 8 月7日（金）
8	申 込 締 切	2026年 8 月7日（金）
9	振 込 期 日	2026年 9 月30日（水）
10	作 成 費	￥2,244,000-（税込）

### ホームページバナー広告

1	広告媒体名	第 55回日本免疫学会学術集会ホームページ
2	掲 載 料 金	￥110,000 -（税込）（1 バナー、画像切替なし）
3	掲 載 期 間	データを頂き掲載された時点から学術集会終了まで（データは各社様にてご用意下さい）
4	原 稿	日本語・英語共通 ①画 像 サ イ ズ : W190px×H60px ②解 像 度 : 72px/inch ③ファイル形式 : jpeg / gif / png いずれか ④ファイルサイズ : 300 キロバイトまで ⑤そ の 他 : リンク先URL をあわせてお知らせください 上記サイズ等詳細は多少変更される場合がございますことをご了承ください
5	申 込 締 切	2026年 9 月30日（水）
6	原 稿 締 切	2026年 9 月30日（水）
7	振 込 期 日	2026年 10 月30日（金）
8	募 集 数	予定 3 社



## 幕間スライド広告

1	広告媒体名	第55回日本免疫学会学術集会幕間スライド
2	掲載料金	¥110,000-（税込）（スライド：画像切替なし） ※「セッション前スライド広告」に申込のあったプログラムでは幕間スライド広告は映写されません
3	掲出方法	講演会場スクリーン
4	原稿	1. データ形式：PPT1枚 2. 複数の広告がある場合、5秒ごとに表示が切り替わります（予定）。
5	申込締切	2026年9月30日（水）
6	原稿締切	2026年9月30日（水）
7	振込期日	2026年10月30日（金）
8	募集数	3社（予定）

## セッション前スライド広告 ※シンポジウム情報についてはシンポジウムテーマ一覧をご参照ください（P13）。

1	広告媒体名	第55回日本免疫学会学術集会 セッション広告
2	掲載料金	シンポジウム ¥220,000-（税込） ワークショップ ¥165,000-（税込）
3	掲出方法	講演会場スクリーン
4	掲載内容	特定のセッションに対し、スライドまたは動画広告（セッション開始前、2分以内）
5	申込締切	2026年9月30日（水）
6	原稿締切	2026年9月30日（水）
7	振込期日	2026年10月30日（金）
8	募集数	シンポジウム 6社（予定） ワークショップ7社（予定）

## オンラインシステム（プログラム検索および抄録閲覧）バナー広告

1	広告媒体名	第55回日本免疫学会学術集会オンラインシステム バナー広告
2	掲載料金	¥110,000 -（税込）（1バナー）
3	掲載期間	オンラインシステム公開期間中
4	原稿	バナー提出サイズ：500px×500px（※表示時は縮小されることがございます） リンク先 URL を合わせてお知らせください。
5	申込締切	2026年9月30日（水）
6	原稿締切	2026年9月30日（水）
7	振込期日	2026年10月30日（金）
8	募集数	3社（予定）

## <オンラインシステムバナー広告 掲載イメージ>

※実際の仕様と異なる場合があります。

**申込方法** 学術集会ホームページよりお申し込みをお願いします。



## ＜ 展 示 ＞

免疫学に関連のある医薬品、ワクチン、医・理科学機器、試薬（抗血清・抗体等）、実験動物用器具、受託サービス等および書籍の展示会を開催し、参加者の皆様に最新情報を提供しております。展示会会場は、多くの参加者が気楽に訪れることができるようにいたします。サイエンス情報交換の場、そして企業様と産学交流の場として、活発な討論がなされるものと期待しております。

### 展示会

タイプ	単位	単価	内容
A	1 小間	¥ 319,000- (税込)	機器・試薬・ソフトウェア・受託サービス等
B	1 小間	¥ 264,000- (税込)	アカデミック（大学や公的機関の研究施設等）
C	1 テーブル	¥ 16,500- (税込)	書籍（最低 6 テーブルからの受付となります） テーブルサイズ W1800×D900×H750
S	Aタイプ 6小間	¥ 1,782,000- (税込)	正規料金より¥ 132,000の割引

#### Aタイプ/Bタイプ

小間サイズ : W2,000mm×D1,000mm×H2,500mm

社 名 板 : W900mm×H200mm

白地にスミゴシック文字

照 明 : パラベット裏 蛍光灯 (40W 1 灯)

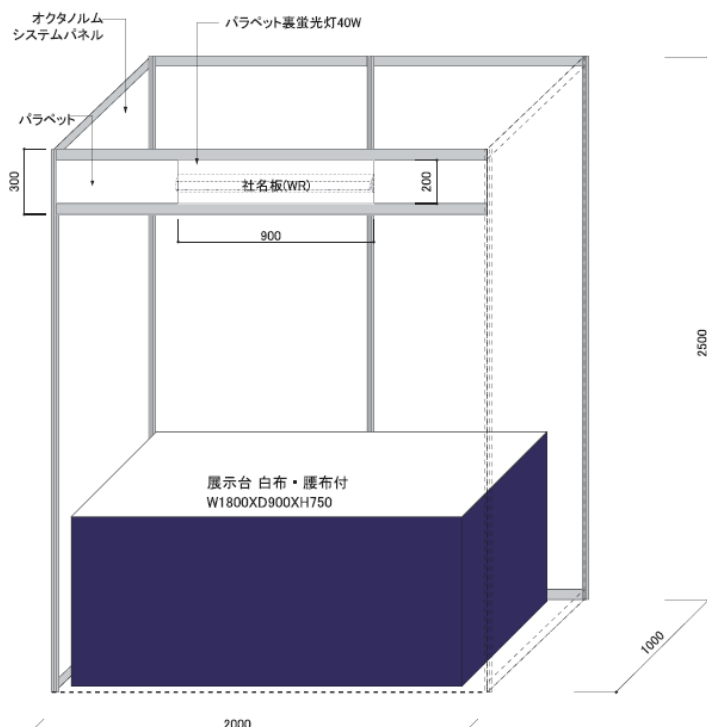
展 示 台 : W1,800mm×D900mm×H750mm

パイプ椅子 : 1 脚

募集小間数 : 65小間（予定）

展 示 会 場 : 大阪府立国際会議場 イベントホール

※左記以外のものはオプションとなります  
 ※電力料金は後日別途お見積もりとさせていただきます  
 ※壁面へは釘、鋸、ピン等一切打ち込みは出来かねます  
 ※独立・島小間等を希望される場合は、別途ご相談ください。なお、Sタイプ（Aタイプ 6小間）以上のみとさせていただきます。



#### スケジュール（予定）

申込締切 : 2026 年 8 月 7 日（金）

振込期日 : 2026 年 9 月 30 日（水）

搬 入 : 2026 年 11 月 16 日（月）

展 示 会 : 2026 年 11 月 17 日（火）～19 日（木）

搬 出 : 2026 年 11 月 19 日（木）

※詳細は後日出展要項にてお知らせいたします

**申込方法** 学術集会ホームページよりお申し込み  
をお願いします。

収支予算書

収入の部

費目	単価	数量	金額
1 参加費		1,600 名	¥17,700,000
事前	事前合計	1,140 名	11,090,000
正会員	12,000 ×	700 名	8,400,000
学生会員	2,000 ×	280 名	560,000
非会員	15,000 ×	130 名	1,950,000
非会員学生	6,000 ×	30 名	180,000
後期・当日	当日合計	460 名	6,610,000
正会員	14,000 ×	150 名	2,100,000
学生会員	3,000 ×	40 名	120,000
非会員	17,000 ×	250 名	4,250,000
非会員学生	7,000 ×	20 名	140,000
2 懇親会参加費		470 名	¥1,030,000
事前 一般	3,000 ×	260 名	¥780,000
事前 学生	500 ×	160 名	¥80,000
当日 一般	4,000 ×	40 名	¥160,000
当日 学生	1,000 ×	10 名	¥10,000
3 共催セミナー			¥41,470,000
Clinical Seminar	1,870,000 ×	9 件	16,830,000
Technical Seminar	1,870,000 ×	11 件	20,570,000
Afternoon Seminar	1,100,000 ×	2 件	2,200,000
Evening Seminar	1,870,000 ×	1 件	1,870,000
4 展示会			¥18,964,000
A (現地/機器・試薬等)	319,000 ×	40 小間	12,760,000
B (現地/アカデミック)	264,000 ×	3 小間	792,000
C (現地/書籍)	16,500 ×	4 小間	66,000
S/パッケージ	1,782,000 ×	3 社	5,346,000
5 広告			¥1,000,000
6 寄付・助成・補助金			¥9,000,000
日薬連	2,000,000 ×	1 式	2,000,000
賛助寄付金(企業)	1,000,000 ×	1 式	1,000,000
民間財団助成金	2,000,000 ×	1 式	2,000,000
大阪府	4,000,000 ×	1 式	4,000,000
合計			¥89,164,000

支出の部

費目	金額
1 事前準備費	¥19,500,000
1) 事務局設置費	7,500,000
2) Webシステム経費	5,500,000
3) ホームページ製作	1,500,000
4) 印刷製本費	4,000,000
5) 消耗品費	500,000
6) 通信・運搬費	500,000
2 当日運営費	¥67,500,000
1) 会場費	20,000,000
2) 機材費	9,000,000
3) 装飾関係費	7,000,000
4) 人件費	7,000,000
5) 招聘費	15,000,000
6) 会議費	8,000,000
7) 運営諸経費	1,500,000
3 事後処理費	¥100,000
1) 事後処理費	100,000
4 予備費	¥2,064,000
合計	¥89,164,000

## < 賛 助 寄 付 金 >

### 賛助寄付金

---

第55回日本免疫学会学術集会は、学会員をはじめ参加者の皆様方と活発な討論ができる場を提供できるよう、準備を進めております。第55回日本免疫学会学術集会の目的・趣旨にご賛同いただき、何卒ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

●募集期間 : 2025 年 10 月1日 (水) ~2026年 11 月16日 (月)

●目標金額 : ￥3,000,000-

●寄付金の用途

2026年11月17日 (火) ~11月19日 (木) にて開催される第55回日本免疫学会学術集会の準備、運営及び関連諸行事等の費用に充当させていただきます。

●申込方法

年会協賛事務局 (e\_jsi2026@aeplan.co.jp) あてにご連絡ください。ご連絡いただき次第、寄附申込書をお送りいたしますので、ご記入のうえ協賛事務局あてにお送りいただきますようお願いいたします。

なお、寄付金をお振込みいただきます際には、2026年 9 月1 日以降でお願いいたします。

●税法上の取扱い

免税措置はありません。

## < キャンセルポリシー >

### 解約について

---

申込み受理後は、組織委員会が不可抗力と認めた事象以外は原則解約することはできません。組織委員会が解約を認めた場合には、出展解約理由を書面にてお送りいただき、受領した日を基準として解約料金をお支払いください。

#### ※解約料金

申込締切日までに受領した場合…請求額（協賛料金）の50%をお支払いください。

申込締切日以後に受領した場合…請求額（協賛料金）の全額をお支払いください。

天災・その他のやむを得ない事情、並びに主催の責任に帰し得ない原因により、大会および展示会の開催を変更・中止する場合があります。この変更により生じた協賛各社の損害は補償できかねます。前述の原因により開催中止、又は開催形式が変更になった場合は、主催は協賛各社に対し、共催費・協賛費から準備費用を除いた金額を算出し、請求又は返金致します。

## < 連 絡 先 >

### 協賛事務局

---

Address : 〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14  
新大阪グランドビル6 F 株式会社エー・イー企画内

T E L : 06-6350-7163

E-mail : e\_jsi2026@aeplan.co.jp

Website : <https://www2.aeplan.co.jp/jsi2026/> (準備中)

## 第55回シンポジウムテーマ一覧(予定)

シンポジウムテーマ
皮膚免疫
腸管粘膜免疫
がん克服に向けたCAR-T細胞療法
アレルギー
病原体の認識
感染免疫
自己免疫疾患の発症機構
自然免疫リンパ球の機能
組織常在マクロファージと疾患
ウイルス感染免疫とワクチン
神経と免疫の連関
ヒト免疫システムの理解